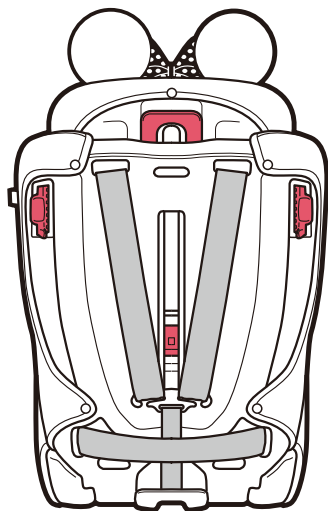


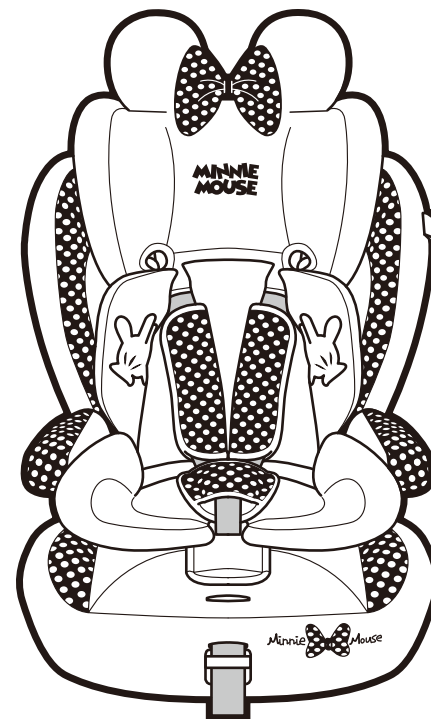
Disney
ジュニアシート
ミニーマウス



Disney
ジュニアシート
ミニーマウス

取扱説明書/保証書

ご使用になる前に必ずこの『取扱説明書』を読んでいただき、十分にご理解された上で、記載の内容に従って正しくご使用ください。



ECE R44/04
UNIVERSAL
9-18kg Y
15-36kg
E24
040253
GROUP I,II,III



© DISNEY

本製品は、ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)との契約により、(株)シーエー産商が製造するものです。



製造輸入元・お客様相談窓口

株式会社シーエー産商

0120-034-017

受付時間 AM10:00~12:00・PM1:00~PM5:00(月曜日~金曜日 ※弊社休日を除く)
〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51

DN1006-2020-11

※本書に使用しているイラストは、取り扱い方や使い方をわかりやすくするため、実際とは多少異なる場合があります。

シートを傷めるおそれがあるため、**本革シートの車両**はそのまま取り付けしないでください。取り付ける場合は、保護シート等を敷いてからお取り付けください。(別売)

ご使用になる前に

～安全のため必ずお読みください～

本装置について

- 本装置は、「汎用」年少者用補助乗車装置です。本装置は車両で一般的に使用するものとして、安全規格(UN/ECE R44/04)で試験を受け認可されており、一部を除きほとんどの車両に適合します。
- 車両の「取扱説明書」に、「汎用」年少者用補助乗車装置を搭載できると明記されていれば、本装置は正しく取り付けできます。
- 本装置は、3点式シートベルトを装備されている座席のみでご使用できます。2点式シートベルトの座席にはご使用できません。
- チャイルドシートは、交通事故などの場合にお子様の傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子様を無傷で守るものではありません。
- ご不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様相談窓口」まで、お問い合わせください。

目次

●ご使用になる前に	1
本装置について	1
ご利用にあたって	2
ご使用いただけるお子様の目安	2
●取り付け可能な車両のシートベルトと取り付け上の注意点	3
取り付けできる3点式シートベルト	3
取り付けできない座席	4
●安全にご使用いただくために	5
●各部の名称	9
●組み立て方	11
●各部の使い方	12
バックル・タンク	12
ヘッドサポート	13
肩ベルト	14
インナークッション	14
●チャイルドシートとしての使い方	15
取り付け方	15
お子様の乗せ方・降ろし方	18
●ジュニアシート(ハイバックシート)としての使い方	20
ご使用になる前に	20
お子様の乗せ方	21
●ジュニアシート(ブースターシート)としての使い方	22
ご使用になる前に	22
お子様の乗せ方	22
●お手入れのしかた	23
取り外し方	23
取り付け方	24
●保証規定／保証書	26

ご利用にあたって

●本書を読んでいただくためのポイントマークについて…

下記のポイントマークは安全に関する内容ですので、必ず守っていただき本装置をご使用ください。



警告

事故につながったり、生命の危険、重大な傷害のおそれがある事を記載しています。



図に表示している行為の禁止を示しています。



注意

安全のため、ご注意ください。いただきたい事を記載しています。

補足

より安全・快適にご使用していただく上で、知っておいていただきたい事を記載しています。

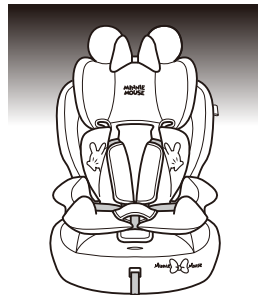
ご使用いただけるお子様の目安

- 本装置は、お子様の年齢や体重により取り付け方が異なりますので、ご使用の前にお子様合った取り付け方を確認し、ご使用ください。

チャイルドシート

〈グループI〉

車両のシートベルトで本装置を固定、本装置のベルトで、お子様を拘束します。



〈適応体重〉

9kg以上18kg以下

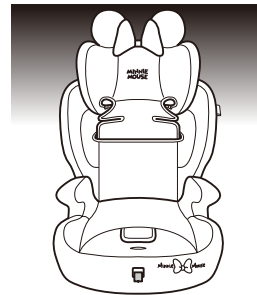
- 年齢の目安: 1歳頃～4歳頃
- 身長目安: 75～100cm以下

ジュニアシート

(ハイバックシート)

〈グループII,III〉

本装置のベルトを取り外し、車両のシートベルトで、お子様を拘束します。



〈適応体重〉

15kg以上36kg以下

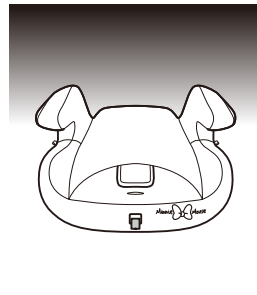
- 年齢の目安: 3歳頃～11歳頃
- 身長目安: 95～138cm以下

ジュニアシート

(ブースターシート)

〈グループIII〉

背もたれを取り外し、座のみにして、車両のシートベルトで、お子様を拘束します。



〈適応体重〉

22kg以上36kg以下

- 年齢の目安: 6歳頃～11歳頃
- 身長目安: 110～138cm以下



車両の進行方向に対し、必ず前向きに取り付けてください。(横向きや後ろ向きでは取り付けないでください。)

補足

「年齢・身長目安」は、あくまでも「目安」です。体重条件を満たしていないお子様はご使用いただけません。

取り付け可能な車両のシートベルトと 取り付け上の注意点

必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。

2点式シートベルトの座席には、取り付けられません。

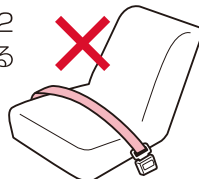
3点式シートベルト

腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で身体を支えるシートベルト。



2点式シートベルト

腰ベルトの左右2点で身体を支えるシートベルト。



取り付けできる3点式シートベルト

■ELR式シートベルト<緊急ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト>

ゆっくり引き出すと自由に出入りしますが、急に引き出したり急ブレーキ等のショックが加わるとロックするシートベルト。

■AELR式シートベルト<チャイルドシート固定機能付シートベルト>

すべて引き出した後で巻き戻すと、チャイルドシート固定機能がはたらき、それ以上伸びなくなるシートベルト。(シートベルトをすべて巻き戻すと解除される)

■NLR式シートベルト<非ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト>

ロック機能がなく、すべて引き出して長さを調整するシートベルト。

■ALR式シートベルト<自動ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト>

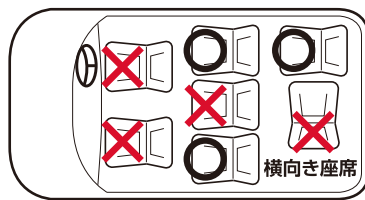
引き出す途中で止めると、ベルトが自動ロックされ引き出せなくなるシートベルト。

■マニュアル式シートベルト

巻き取り機能のない3点式シートベルト。

取り付け可能箇所

- 助手席にはエアバッグが装備されています。エアバッグの作動により大きな衝撃を受けるおそれがあるため、後部左右座席に取り付けてください。
- 進行方向に対し、後ろ向き・横向きの座席には取り付けられません。

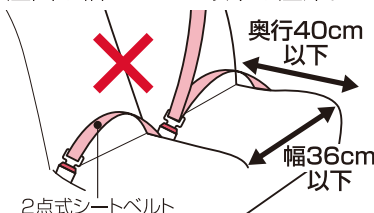


※必ず弊社「車種別適合表」をご確認ください。

○取り付け可能 X 取り付け不可

取り付けできない座席

- シートベルトが装備されていない座席。
- 2点式シートベルトの座席。
- シートベルトの全長が230cm以下の座席。
- 座面の奥行が40cm以下の座席。
- 座面の幅が36cm以下の座席。



- 助手席には決して取り付けないでください。

- エアバッグが装備されている座席。
※サイドエアバッグのみの場合はご使用いただけません。

- 座席と本装置との間に大きな隙間ができる座席、または車両のヘッドレストによって固定が不安定になる座席。

※車両座席のヘッドレストを上下に調節したり外すことで取り付け可能になる場合があります。

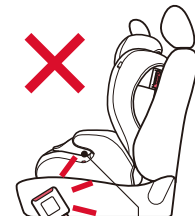
- 受け側のバックルベルトが長い場合、車両のバックルやタンクが本装置とあたって、シートベルトが緩み、しっかり締め付けができない座席。



- 極端なバケットシート。座面・背面が極端に凹んだ座席。または座面の凹凸が大きく、不安定な座席。

- 横向きや後ろ向きの座席。
- 本装置を使用することにより、緊急時に車両から脱出する際、さまたげになる座席。

- 本装置の車両シートベルト通し口よりも、車両のバックルが前に出ている座席。



車両シートベルト通し口

- 自動式ショルダーベルト(パッシブシートベルト)※が、装備されている座席。

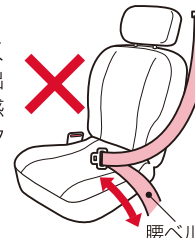
※ドアを閉めると自動的にシートベルトを装着する機能があるシートベルト



- 腰ベルト、または肩ベルトがドアに取り付けられた座席。

- 腰ベルトにELR※が装備されている座席。

※腰ベルトをゆっくり引くと自由に出入りし、衝撃を感じた際にロックするシートベルト



腰ベルト

安全にご使用いただくために

警告

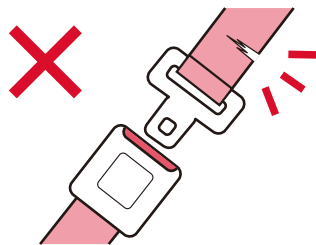
記載内容を守らないと、生命の危機または重大な傷害につながるおそれがあります。

本装置は、安全な後部座席に取り付けてご使用ください。

※安全上、前座席にはご使用いただけません。

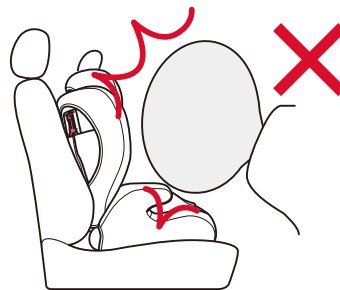
- 本装置は『取扱説明書』通りに取り付けてください。
- 車両のシートベルトや座席の種類・形状により、『取扱説明書』通りに取り付けできない場合は、使用しないでください。
- 本装置のベルトが緩んだ状態で使用しないでください。ベルトに緩みがあると首に巻き付いて窒息するおそれがありますので、必ず正しい長さでご使用ください。

- 車両のシートベルトや本装置のベルトを傷つけないように注意してください。傷ついた場合、衝撃時に十分な効果が得られない場合がありますので、使用しないでください。



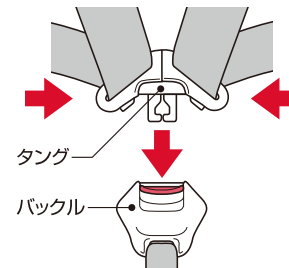
- お子様を本装置に乗せないとき、また車内に置いたまま運転される場合でも、必ず車両のシートベルトで固定してください。急ブレーキや衝突時、運転者や同乗者に傷害を及ぼすおそれがあります。
- お子様がバックルボタンを押してしまうおそれがありますので、時々タングがバックルから外れていないかを確認してください。

- エアバッグが装備されている座席には、本装置は使用できません。衝突時、エアバッグの作動により、衝撃を受け非常に危険です。※サイドエアバッグのみの場合は、使用できます。



- お子様を本装置に乗せてセットする際は、骨盤が腰ベルトで拘束されるように低い位置で着用し、肩ベルトもお子様に合わせて、適切な位置で拘束されるようにしてください。
- 走行中にお子様の乗せ降ろし(乗り降り)や、本装置の調節等は絶対にしないでください。
- 本装置を取り付けた後に、車両の座席のリクライニング操作や移動をすると、取り付けが緩む場合がありますので、必ず取り付け状態を確認してください。

- 左右のタングをきちんと重ね合わせてから、バックルに差し込んでください。



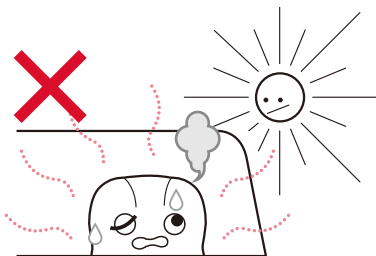
- 拘束機能に影響を与えるおそれがありますので、本装置のカバー・クッション・ベルト類・付属金具等を外して使用しないでください。(インナークッションを除く)
- お子様を本装置に乗せたまま、車内にひとりで放置しないでください。予期せぬ事故の原因となる場合がありますので、必ず保護者の方が同乗してください。



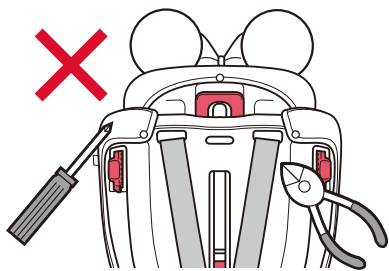
安全にご使用いただくために

警告

- 本装置を屋外に放置しないでください。日光や雨などで機能を損ねる原因になります。



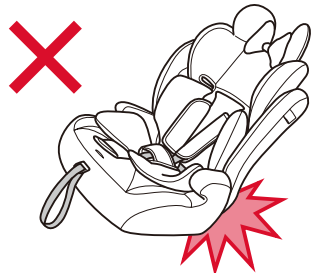
- 本装置を改造したり、部品を外して使用しないでください。(インナークッションを除く)万一の場合、十分な機能を果たさなくなります。また、インナークッション等は純正のもの以外は使用しないでください。安全を損なうおそれがあります。



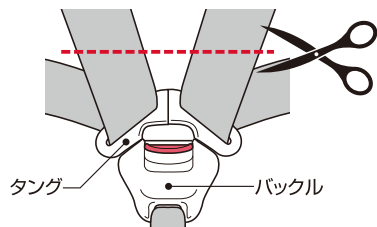
- お子様の負担を考え1時間以上連続して使用しないでください。

- 走行前に、本装置が正しく座席に取り付けられているか、取り付けが緩んでいないかを確認してからご使用ください。

- 衝突事故や本装置を落下させたときなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は外見上問題がなくても絶対に使用しないでください。



- 緊急時は慌てず速やかにお子様を救出してください。バックルボタン(赤いボタン)を下に押しても、タングがバックルから解除できない場合は、本装置のベルトをはさみ等で切ってお子様を降ろしてください。

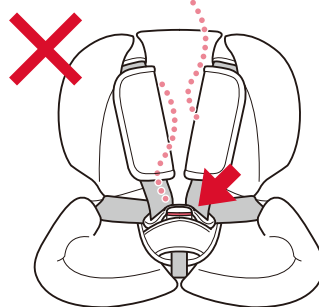


注意

記載内容を守らないと、傷害または事故につながるおそれがあります。

- 本装置は車両専用ですので、車両以外での使用はしないでください。

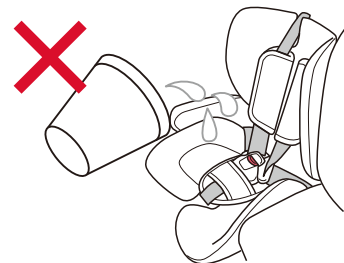
- 直射日光が当たったり、夏の日差し強い日に車内に置いたままにすると、本装置のタングなどが熱くなって、お子様がやけどをするおそれがあります。日陰に駐車されるか、本装置にカバーをかけて保護してください。



- 車両内に傷害を与えるおそれのあるものを放置しないでください。万一の際に、お子様や同乗者がケガをする場合があります。

- 本装置を座席の可動部やドアに、挟まないように注意してください。

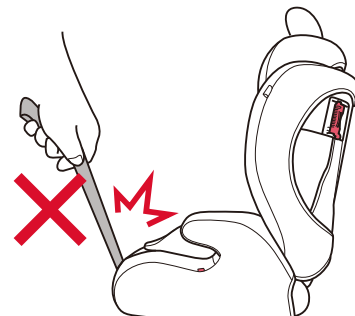
- 本装置のバックルや可動部分に、水・ジュース等をかけないでください。部品の故障につながります。



- 本装置を屋外・風雨にさらさないようにしてください。

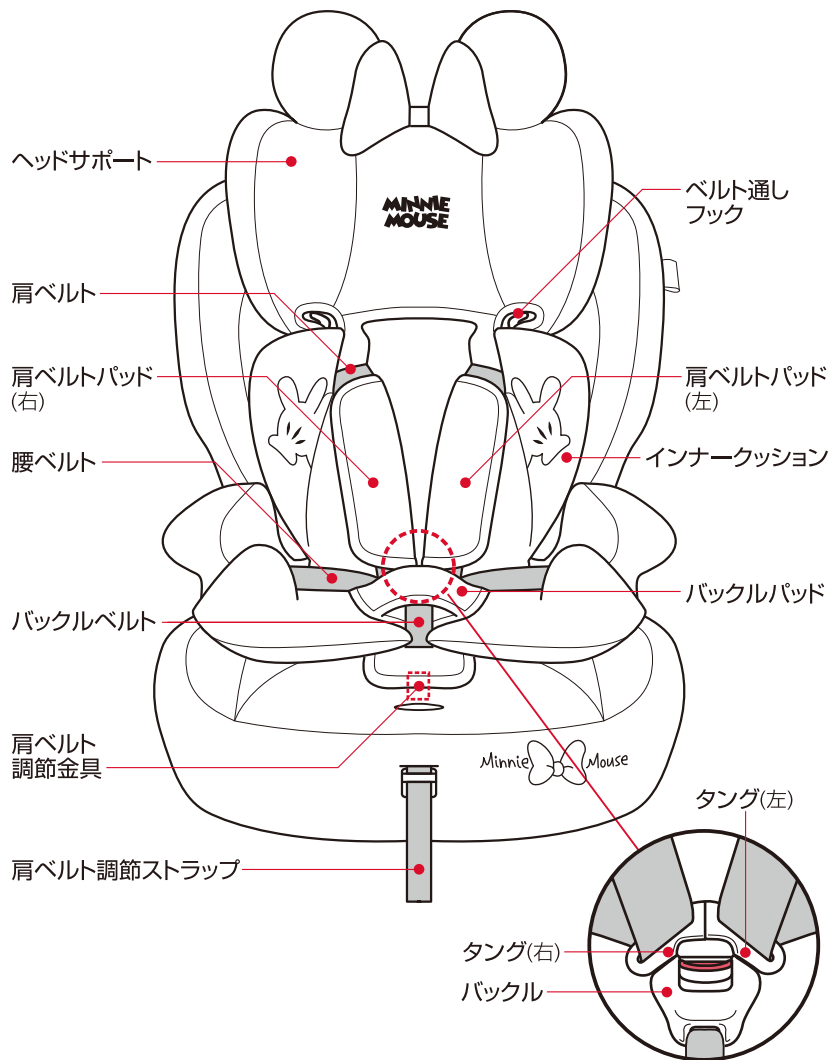
- 車両の座席にクッションや座布団などを敷いたまま、取り付けしないでください。(保護シートは除く)

- 肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。

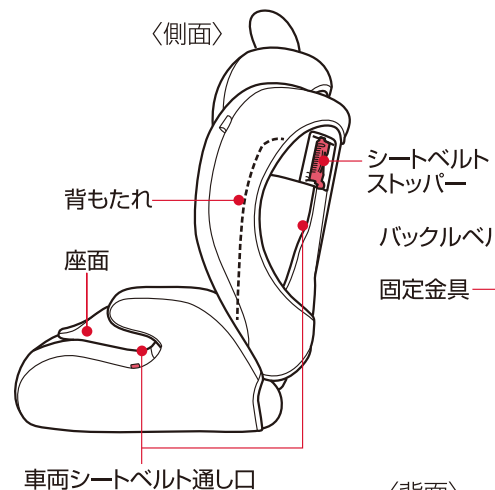


各部の名称

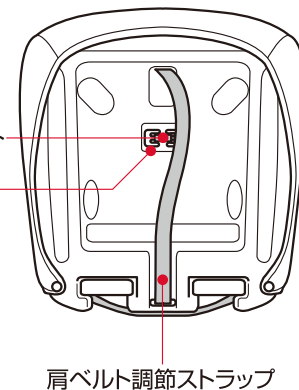
〈正面〉



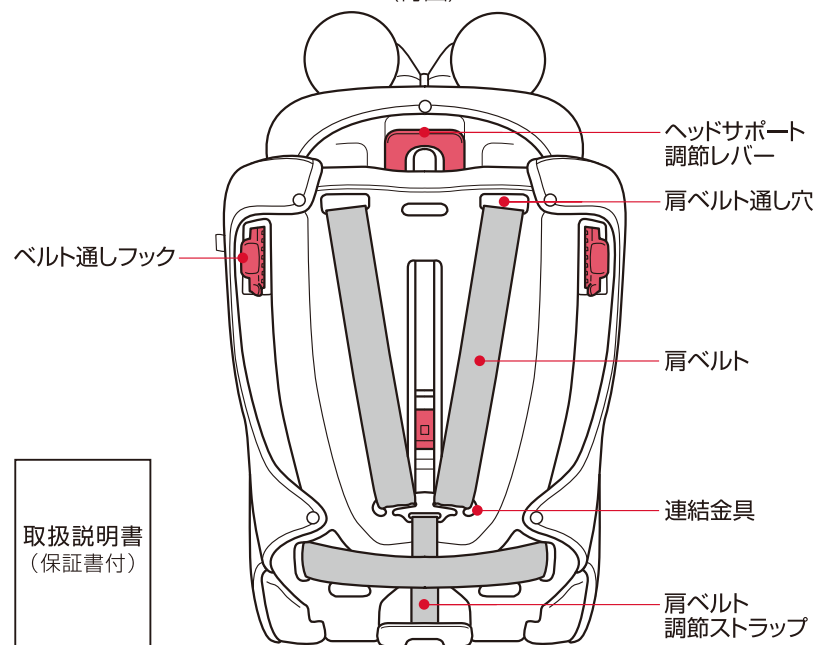
〈側面〉



〈底面〉

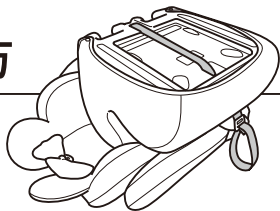


〈背面〉



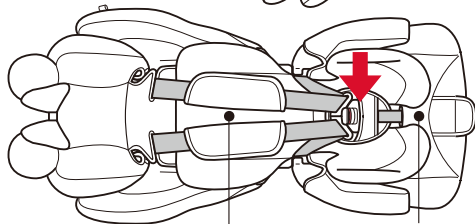
取扱説明書
(保証書付)

組み立て方



1

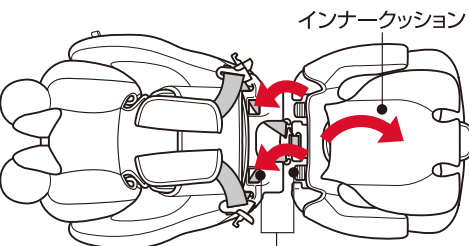
バックルボタン(赤いボタン)を押して、タングをバックルから解除します。



背もたれ 座面

2

インナークッションを引き上げ、座面のジョイントを背もたれのジョイントに差し込みます。



インナークッション

ジョイント

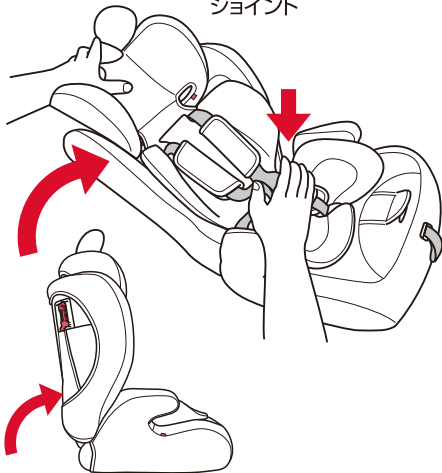


注意

ジョイントに差し込む際にベルトがねじれていないか、背もたれと座面の間にベルト・タングが挟まっていないかを確認してください。

3

ジョイント部分を押さえつけながら、背もたれを一番上までゆっくり引き上げます。



左右のタングを合わせ、バックルに差し込みます。

肩ベルト調節ストラップを手前にゆっくり引っ張り、肩ベルトを締め付けます。

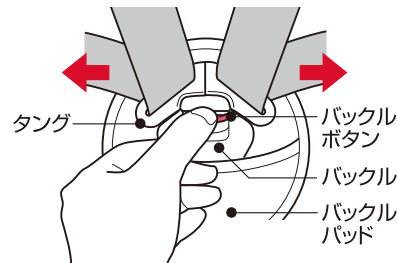
※引き上げるときにスムーズに上がらない場合は、再度確実に差し込んでから引き上げてください。無理に引き上げると破損のおそれがあります。

各部の使い方

バックル・タング

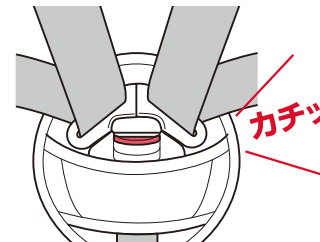
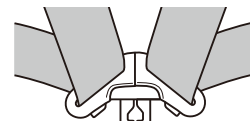
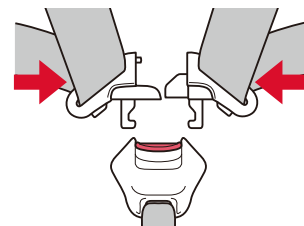
1

バックルパッドを引き下げ、バックルボタン(赤いボタン)を下に押し、タングをバックルから解除し、お子様が座れるようにタングを左右に開き、バックルを前に倒します。



2

お子様を座らせ、左右の肩に肩ベルトを掛け、左右のタングを合わせます。タングをバックルに、「カチッ」と音がするまで確実に差し込み、バックルパッドを引き上げます。



警告

バックルとタングをセットした際は、「カチッ」と音がしたことを確認してください。



注意

タングの接合部に強い力を加えないでください。破損するおそれがあります。バックルに片方のタングのみを差し込まないでください。タングが抜けなくなる場合があります。

補足

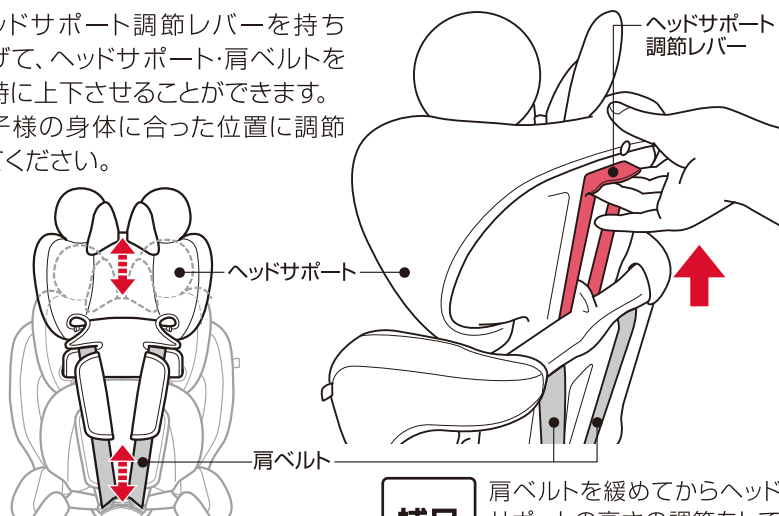
バックル内に飲み物や食べかす等が入ると、バックルの機能を損なうおそれがありますので、水分・ゴミは取り除いてください。

各部の使い方

ヘッドサポート

ヘッドサポート(肩ベルトと連動)の調節方法と高さ調節の目安

ヘッドサポート調節レバーを持ち上げて、ヘッドサポート・肩ベルトを同時に上下させることができます。お子様の身体に合った位置に調節してください。

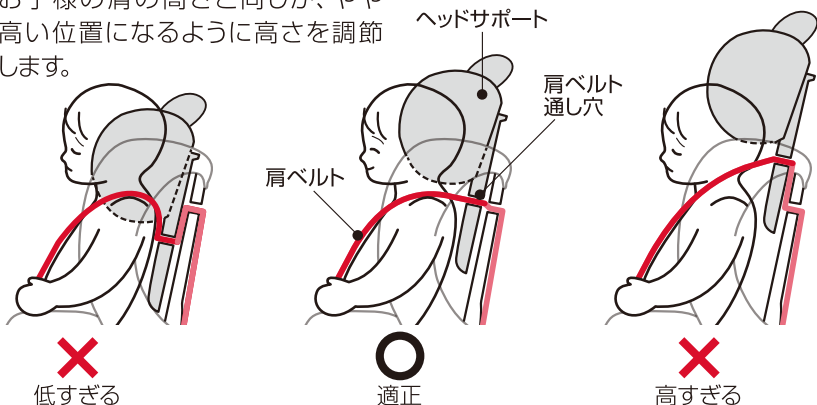


補足

肩ベルトを緩めてからヘッドサポートの高さの調節してください。

●高さ調節の目安

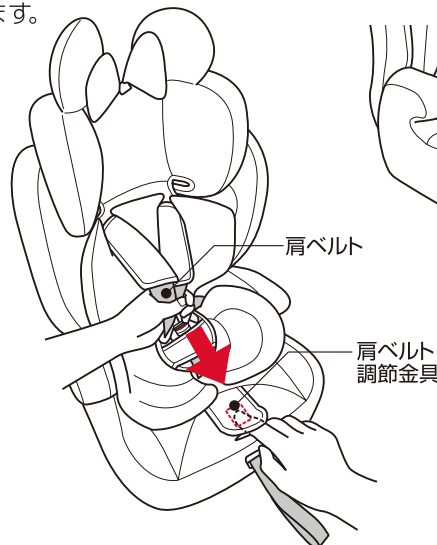
ヘッドサポートの肩ベルト通し穴が、お子様の肩の高さと同じか、やや高い位置になるように高さを調節します。



肩ベルト

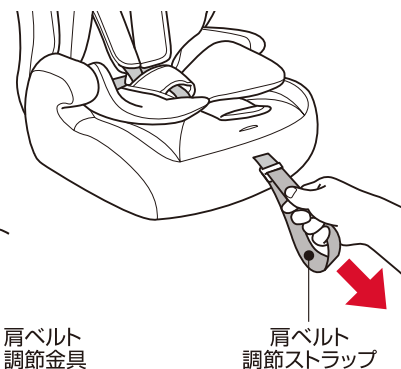
●肩ベルトを緩める

肩ベルト調節金具を押しながら、左右の肩ベルトを持って下側に引っ張ります。



●肩ベルトを締める

肩ベルト調節ストラップを、手前にゆっくり引っ張ります。



注意

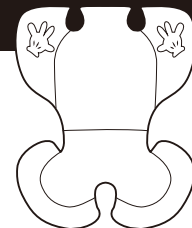
左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。

補足

肩ベルトを締める場合、調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指が1本入る程度に調節してください。

インナークッション

13kg未満のお子様は、インナークッションを付けてご使用ください。



チャイルドシートとしての使い方

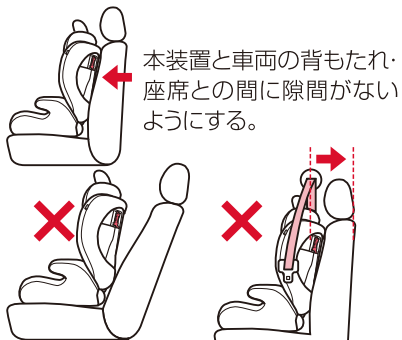
取り付け方 (後席左側での取り付け例)

1

本装置を車両の座席に置き、本装置の背もたれと車両の座席との間に大きな隙間がなく接していることを確認してください。

また、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。

※本装置に車両のヘッドレストが干渉して隙間ができる場合、車両のヘッドレストを上にあげるか取り外してください。車両のヘッドレストが取り外せなくて、本装置と当たる座席には取り付けできません。



注意

車両の背もたれを、倒した状態で使用しないでください。座席の背もたれを、車両のシートベルトの取り付け位置より後方にスライドさせて使用しないでください。



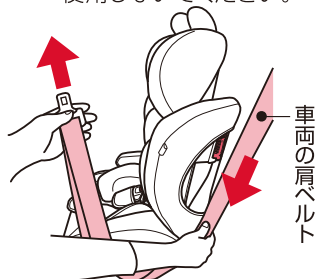
エアバッグ装備の助手席には絶対に取り付けないでください。

2

車両のシートベルトを目一杯引き出してください。

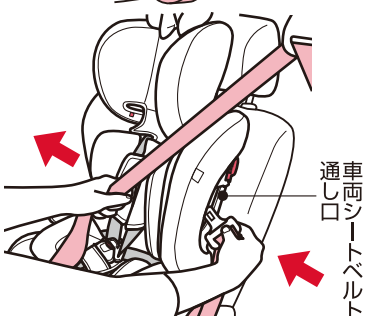
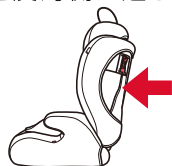
補足

車両の肩ベルトが巻き戻らないように注意しながら取り付けてください。



3

車両シートベルト通し口(本装置の背もたれと本体カバーの間に、車両のシートベルトを反対側に通します。



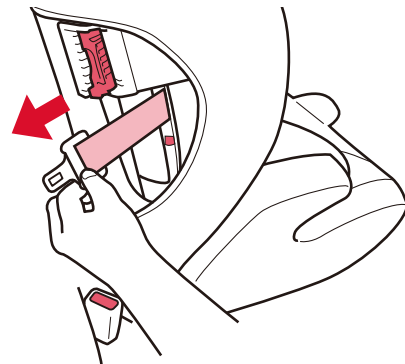
GROUP I...9kg以上18kg以下 ●身長の目安:75~100cm以下

取り付け方

4

車両シートベルト通し口に通した車両のシートベルトを、反対側に引き出し、シートベルトがねじれていないことを確認してから車両のバックルにセットします。

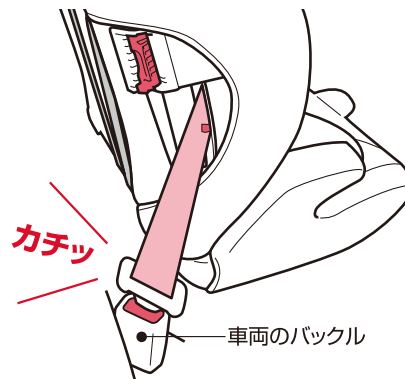
セットする際は、「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。



バックルとタンクをセットした際は、「カチッ」と音がしたことを確認してください。

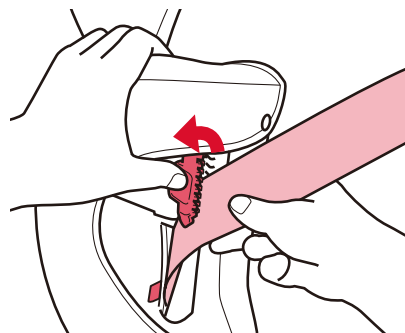
補足

車両のバックルにセットする前に車両のシートベルトにねじれないことを確認してください。



5

車両のシートベルトがピンと張るように巻き戻し、車両の肩ベルトをシートベルトストッパーで固定してください。

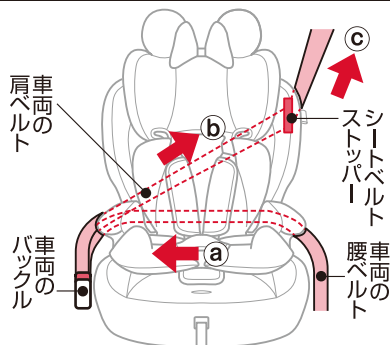
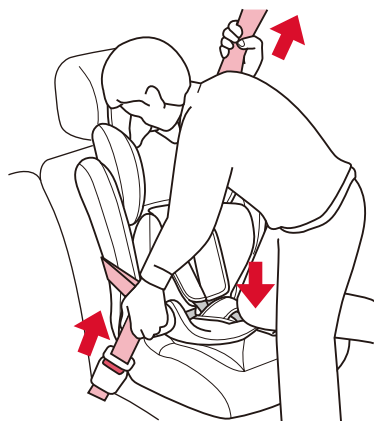


チャイルドシートとしての使い方

取り付け方

6

本装置の座面の上から体重をかけ、車両の座席に押し付けながら車両の腰ベルトを引っ張り(Ⓐ)、車両の肩ベルトを巻き戻して(Ⓑ)シートベルトを緩みをなくします。



セット後の確認

- 車両のシートベルトのタングとバックルが、確実にセットされていること。
- 車両のシートベルトに、ねじれやたるみがないこと。
- 車両のシートベルトが、シートベルトストッパーに確実に固定されていること。
- 本装置を前後に軽く揺すって、ぐらつきがなく安定していること。



上記の内容を満たしていない状態で使用しないでください。本装置の機能が十分に発揮せず危険です。

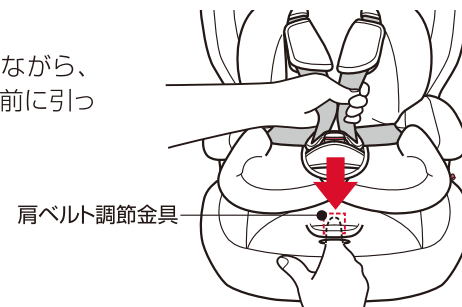


車両のシートベルトがバックルに届かない場合、車両の背もたれや座席位置を調節して、再度取り付けてください。本装置を車両の背もたれに押し付け、ぐらつきがなくしっかり固定されていることを確認してください。

お子様の乗せ方

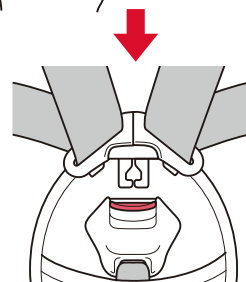
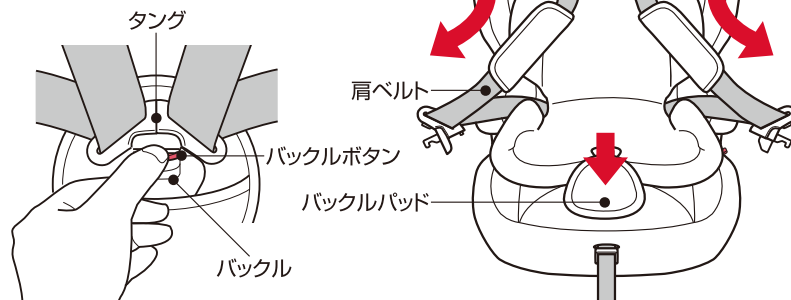
1

肩ベルト調節金具を押しながら、左右の肩ベルトを持って手前に引っ張り、肩ベルトを緩めます。



2

バックルボタン(赤いボタン)を押して、タングをバックルから解除します。肩ベルトを左右に開き、バックル・バックルパッドを前に倒し、お子様が座れるスペースを確保します。



左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。

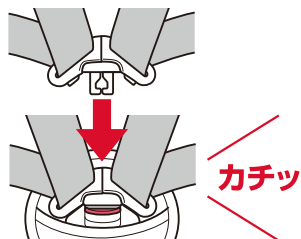


バックル内に飲み物や食べかす等が入ると、バックルの機能を損なうおそれがありますので、水分・ゴミは取り除いてください。

お子様の乗せ方

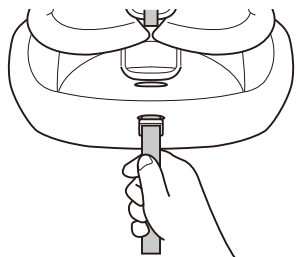
3

バックルが、お子様の股の間に収まるように深く座らせます。左右のタングを合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込みます。



4

腰ベルトに緩みがないことを確かめてから、肩ベルト調節ストラップを手前にゆっくり引っ張り、肩ベルトを締め、お子様を拘束します。



警告 バックルとタングをセットした際、「カチッ」と音がしたこと、確実に固定されていることを確認してください。



注意 肩ベルトにねじれができないように、また指を挟まないように十分注意してください。肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。タングの接合部に強い力を加えると破損するおそれがあります。



補足 肩ベルト調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指が1本入る程度に調節してください。

お子様の降ろし方

肩ベルト調節金具を押して肩ベルトを緩めます。バックルボタンを押してロックを解除し、肩ベルトを左右に開きます。

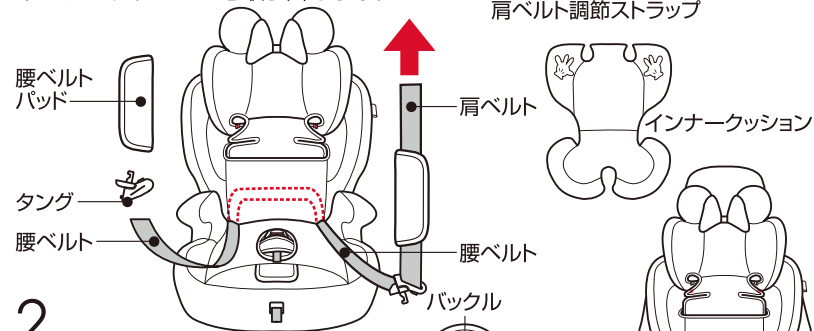
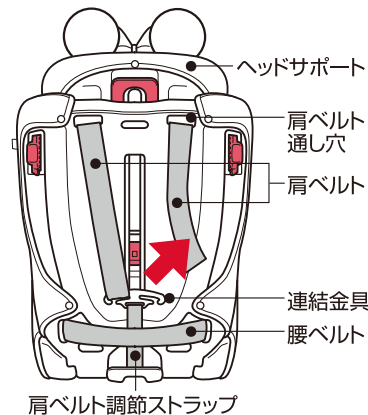
お子様の腕が肩ベルトに引っかからないように注意しながら、ゆっくりとお子様を降ろしてください。

ジュニアシート(ハイバックシート)としての使い方

ご使用になる前に

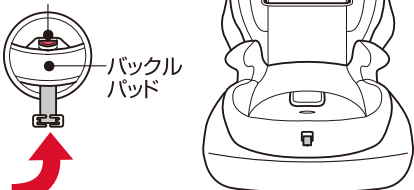
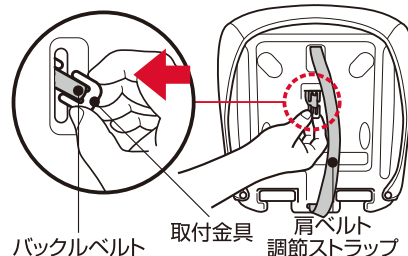
1

ヘッドサポートの肩ベルト通し穴と背もたれの肩ベルト通し穴の位置を合わせます。(ヘッドサポート:下から3段目) 連結金具から左右の肩ベルトを取り外し、本体表側に引き出します。タングをバックルから解除し、片方の肩ベルトから肩ベルトパッド・タングを取り外して、本体から肩・腰ベルトを引き抜きます。インナークッションを取り外します。



2

座面裏側にある取付金具・バックルベルトを、座面表側に押し込んでバックル・バックルパッドを取り外します。



注意 肩ベルト調節ストラップは引き抜かず、小さく折りたたんでください。取り外した部品(肩・腰ベルト/肩ベルトパッド/タング/インナークッション/バックル/バックルパッド)は大切に保管してください。

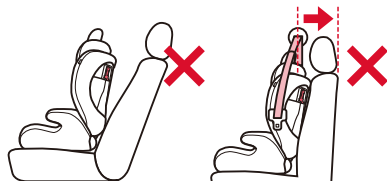
GROUP II,III...15kg以上36kg以下 ●身長目安:95~138cm以下

お子様の乗せ方

1

本装置を車両の座席に置き、本装置の背もたれと車両の座席との間に大きな隙間がなく接していることを確認してください。

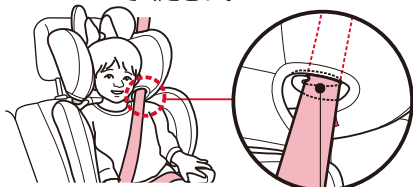
また、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。



車両の背もたれを、倒した状態で使用しないでください。座席の背もたれを、車両のシートベルトの取り付け位置より後方にスライドさせて使用しないでください。

2

お子様を深く座らせ、ベルト通しフックに車両の肩ベルトのねじれがないように、お子様の首に掛からないように注意して通してください。



3

車両の腰ベルトがお子様の骨盤の低い位置にかかるように、タンクとバックルをセットします。バックルが、「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。



〈後席左側取り付けイメージ〉

4

車両の腰ベルトを引っ張り(㊳)、車両の肩ベルトを巻き戻して(㊴)シートベルトの緩みがないように装着してください。



お子様の手や腕を車両のシートベルトで挟まないように、車両のシートベルトの上になるようにしてください。

お子様が乗っていないときでも車両のシートベルトで本装置を固定してください。

ジュニアシート(ブースターシート)としての使い方

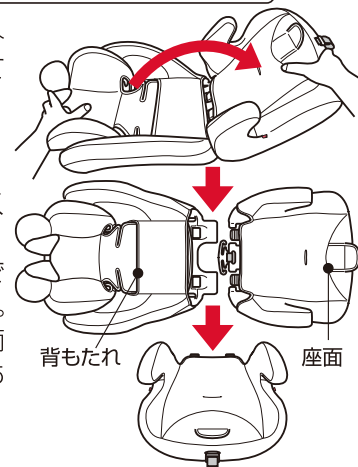
ご使用になる前に

GROUP III...22kg以上36kg以下 ●身長目安:110~138cm以下

22kg以上かつ110cm以上のお子様は、背もたれを外して座のみ(ブースター)でもご使用いただけます。

1

背もたれを倒し、座面から背もたれを取り外します。外した背もたれは大切に保管してください。



2

本装置を車両の座席に置き、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。車両の座席の背もたれがリクライニングできる場合は、立てた状態で使用してください。倒した状態で使用した場合、衝突時に車両のシートベルトの下からすり抜ける場合があります、たいへん危険です。

※安定しない場合は装着できません。

お子様の乗せ方

お子様を深く座させます。

車両の腰ベルトは左右の車両シートベルト通し口にしっかりと掛かり、お子様の腰骨の低い位置にしてください。また、車両の腰ベルトが緩んでいる場合は車両の肩ベルトを引っ張り、確実にフィットするように装着してください。

車両の肩ベルトは肩の位置に調節し、車両のバックルは「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。



〈後席左側取り付けイメージ〉



車両の肩ベルトが、お子様の首に掛からないように注意してください。身長が低くて首に掛かる場合は、背もたれ付(ハイバックシート)でご使用ください。

お子様が乗っていないときでも車両のシートベルトで本装置を固定してください。

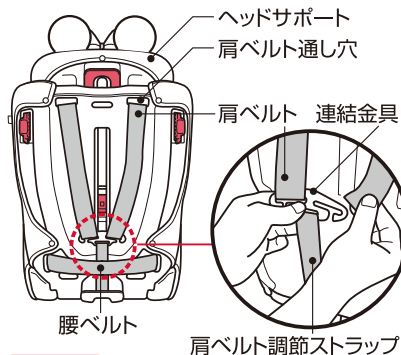
お手入れのしかた

取り外し方

■肩・腰ベルトを外す

ヘッドサポートの肩ベルト通し穴と、背もたれの肩ベルト通し穴の位置を合わせます。

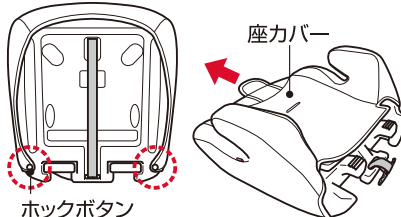
本装置の背面にある連結金具から肩ベルトを取り外し、本体から肩・腰ベルトを引き抜き、肩ベルトパッド・タングを取り外します。



注意 肩ベルト調節ストラップは、取り外さないでください。

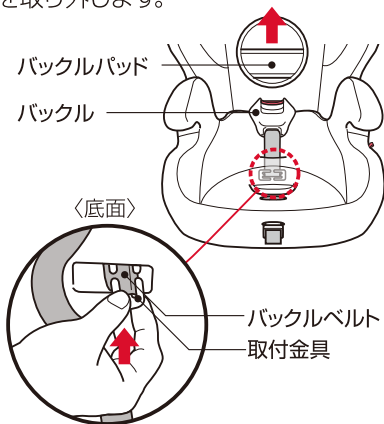
■座カバーを外す

座カバーは、背もたれを倒し座面裏側の左右のホックボタンを外し取り外します。



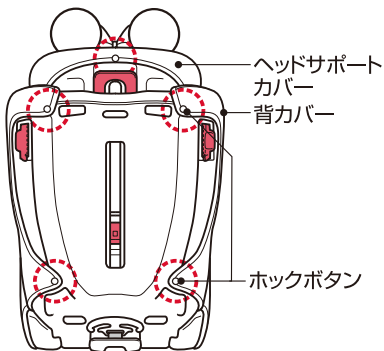
■バックルを外す

座面裏側にある取付金具・バックルベルトを、座面表側に通してバックルを取り外します。



■ヘッドサポートカバー・背カバーを外す

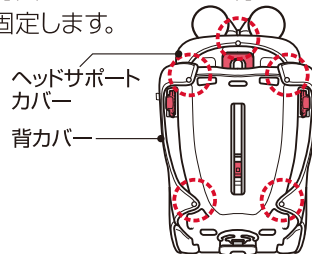
ヘッドサポートカバーと背カバーは、背面のホックボタンを外して本体より取り外します。



取り付け方

■ヘッドサポートカバー・背カバーを取り付ける

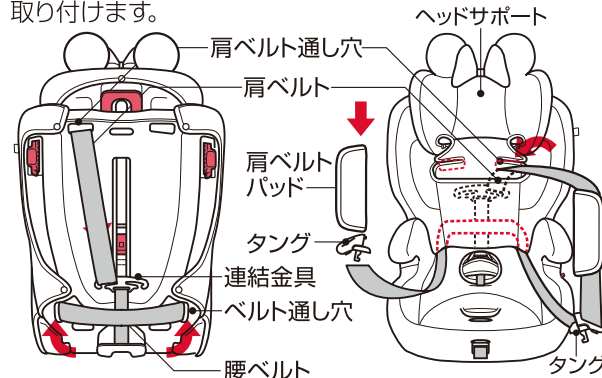
ヘッドサポートカバーと背カバーは、背面のホックボタンを付けて本体に固定します。



■肩・腰ベルトを取り付ける

背面から下側の肩ベルト通し穴に肩・腰ベルトを通します。

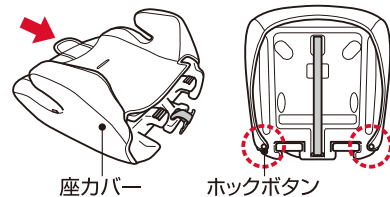
正面に引き出した肩・腰ベルトに、タング・肩ベルトパッドを通します。ヘッドサポートの肩ベルト通し穴と背もたれの肩ベルト通し穴の位置を合わせ、肩ベルトを通し連結金具に取り付けます。



腰ベルトは肩ベルト調節ストラップの外側に通します。

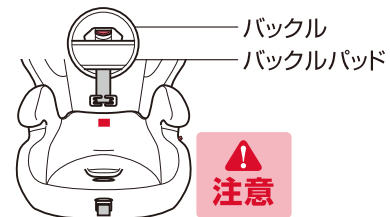
■座カバーを取り付ける

座カバーを取り付け、座面裏側の左右のホックボタンを付けて固定します。



■バックルを取り付ける

座面裏側に取付金具・バックルベルトを通して取り付けます。



注意

タング・バックルパッドの左右を間違えないように、またベルトにねじれがないように注意してください。

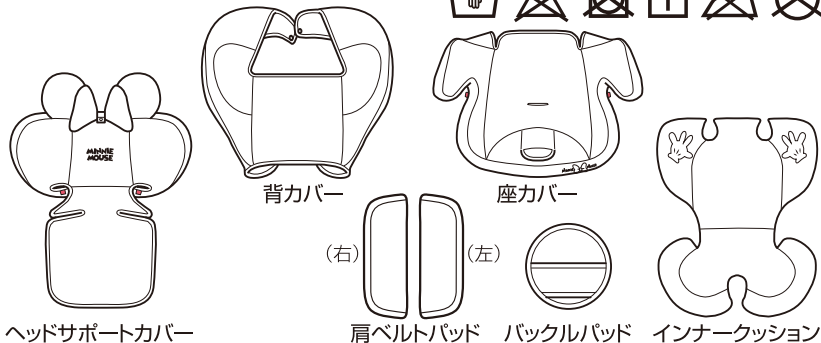
補足

左右のタングをバックルに差し込んでからベルトを通すと、ベルトのねじれやタングの左右の間違いを防止することができます。

お手入れのしかた

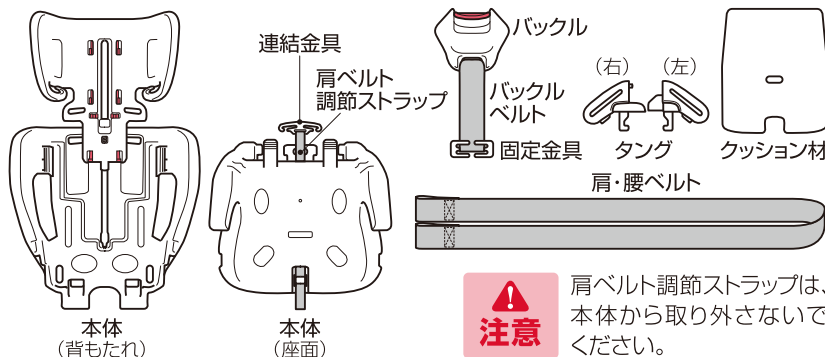
カバー・パッド・クッション

- 中性洗剤を使い、手洗いしてください。
- アイロンがけはしないでください。
- 塩素系漂白剤は色落ちしますので、使用しないでください。
- 脱水機・乾燥機等は使用せず、タオル等で水分を十分取り、風通しを良くし、のよい日陰で干してください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。



本体・ベルト・バックル等

- 乾拭き、またはよく絞った布で水拭きしてください。
- バックル・タングに付いた水分や汚れは、しっかり拭き取って乾かしてください。
- 風通しのよい日陰で干してください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。



注意 肩ベルト調節ストラップは、本体から取り外さないでください。

保証規定

- ①本装置の品質保証期間は、お買い求めになった日より1年間です。
- ②保証期間内には、パーツの欠品、加工不良などメーカーの責任によるものは無償保証といたしますが、お客様の責任によるものは保証いたしかねます。
- ③保証期間内で次の場合は保証対象外とさせていただきます。
 - ・フレームおよびプラスチック部品の自然劣化。
 - ・ご使用にともなうキズやぶれ。
 - ・天変地異や、事故などによる故障や損傷。
 - ・有償修理時に要する送料費。
 - ・保証書および販売証明書などのご提示がない場合。
 - ・間違った使い方や改造、不適切な修理、手入れ不良による故障や損傷。
- ④原則として、一度ご使用になった製品は、パーツ欠品、加工不良のものを除き保証いたしかねます。
- ⑤保証書は日本国内においてのみ有効です。海外からの保証サービスは受付できません。
- ⑥ご贈答、ご移転で保証書に記入してある販売店に保証サービスを依頼できない場合は「お客様相談窓口」にご相談ください。
- ⑦製造中止後の製品については、必要部品の在庫がなくなった場合、保証いたしかねることがあります。
- ⑧この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料保証をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権限を制限するものではありません。この保証期間後においてご不明な点がございましたら、「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

保証書

お買い上げ後、お買い上げ日・お客様名・販売店名を直ちに下記記入いただき、**レシートまたは販売証明書**(ご購入年月日・販売店がわかるもの)と一緒に大切に保管してください。

商品名 ジュニアシート/ミニマウス	お買い上げ 年月日	年 月 日	故障内容記入欄
	保証期間 お買い上げ日より1年間		
お客様	お名前	TEL	
	ご住所		
販売店	店名	TEL	
	住所		

- 万一故障が発生した場合は、この保証書とレシートまたは販売証明書をご提示ください。
 - 提供いただいた個人情報は、保証書に基づくアフターサービスのために使用し、その他の目的に使用することは一切ございません。
 - 本書は再発行しませんので、大切に保管してください。
- ※品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますのでご了承ください。